



デジタル化がもたらす次の社会 ～スタンフォード大学mediaX最新研究より～

スタンフォード大学mediaXは、スタンフォード大学の知とネットワークを活用し、人々の生活をよりよいものとするために設立された独創的な組織で、JINのナレッジパートナーでもあります。今回は、mediaXのエグゼクティブディレクターであるMartha G. Russell氏と、Michael Shanks氏、Harlan Kennedy氏をお招きし、デジタル化に関する最新の研究動向を共有いただきます。イノベーションは社会や産業、個人に新たな価値をもたらすものであり、デジタル化の影響は見過ごすことができません。また、デジタル化は経営にとって大きな脅威である、一方、日本企業の弱みでもあるといわれています。当日は、デジタル化時代にどのようにイノベーションを興すかという観点から、講義と対話を行っていく予定です。

開催概要

- 日時：2016年9月13日（火）15:00-17:30
- 場所：帝国ホテルタワー 8階 JINオフィス（東京都千代田区内幸町1-1-1）
<http://ji-network.org/access/>
- 参加者：30名程度 ※JIN法人会員およびご招待企業
- 言語：英語 ※日本語通訳はありません
- 参加費：無料
- 申込方法：<http://jin-event20160913.peatix.com>
※パスワードは別途ご連絡させていただきます。
- プログラム（予定）
 - 14:45- 開場
 - 15:00- はじめに 紺野登氏（代表理事/JIN）
 - 15:15- 講演「Digitalization and Innovation (TBD)」、ディスカッション
Martha G. Russell氏（エグゼクティブディレクター/スタンフォード大学mediaX）
Michael Shanks氏（教授/スタンフォード大学）
Harlan Kennedy氏（設立者兼戦略ディレクター/VBP Orange）
 - 17:00- Q&A（～17:30）

Martha G. Russell氏



人と人、ブランド、組織、イノベーションにおける関係性システムを研究。データのビジュアライゼーションを活用しながら、グリーンテクノロジーにおけるイノベーションエコシステムの進化を探究。

国家機関、技術系企業に対するICT技術リーダーシップにおける共同研究イニシアチブの立ち上げに貢献。マイクロエレクトロニクス、情報科学、製造科学における官民連携の第一人者として活躍。ミネソタ大学・テキサス大学・スタンフォード大学間の学際的なリサーチプログラムを主導。プランニング・評価システムの開発、国際的・地域的双方にて地域開発における技術革新のコンサルティングを展開。

サンタバーバラのカリフォルニア大学にて学士号、技術移転にフォーカスした政策分析において、ミネソタ大学にて博士号を取得。Journal of Technology Forecasting, Social Change、他スタートアップ企業等のアドバイザーボードを務める。

主催：一般社団法人 Japan Innovation Network

問い合わせ先：一般社団法人 Japan Innovation Network事務局（Email：info@ji-network.org）